

# 東京医療

東京医療生活協同組合の理念 「誠実」

## 東京医療生協職員の倫理綱領

1. 私たちは医療の質の向上に努め、人格教養を高めることによって、全人的医療を目指します。
2. 私たちは医療記録を適正に管理し、また知り得た内容を他にもりません。
3. 私たちは病める人々の権利の擁護とプライバシーの保護に努めます。
4. 私たちは病院医療にかかわるあらゆる安全管理に最大の努力を払います。
5. 私たちは地域の人々により良い医療を提供するために、他の機関との積極的な連携を推進します。

発行人 理事長 入江 徹也 発行責任者 事務局長 森久保 豊

東京都中野区中央四丁目59番16号 TEL 03-3382-1231(代) 欄附 03-3382-9991

新渡戸記念中野総合病院ホームページ <http://www.nakanosogo.or.jp> E-mail: [soumu@nakanosogo.or.jp](mailto:soumu@nakanosogo.or.jp)

## ◆慢性腎臓病から身を守る方法 ～わかりやすい予防から最新治療までのお話～



新渡戸記念中野総合病院腎臓内科部長

東京医科歯科大学腎臓内科臨床教授 野田 裕美

平成29年6月24日に区民健康講座「慢性腎臓病から身を守る方法」を開催しました。盛況で講演中および講演後に多くの方々からご質問をいただきました。会場の時間の都合で全ての方にはお答えできず残念でしたが、皆様の腎臓病への関心がますます強まっていることを感じこのような活動を継続する必要性をあらためて感じました。ここで講座の内容を一部ご紹介します。

慢性腎臓病はCKDともいいます。我が国の成人の8人に1人は慢性腎臓病患者となっています。慢性腎臓病の多くは自覚症状がありません。このため、**本人が病気であることを気がつかないうちに悪化してしまう**という問題があります。腎臓病が進行して腎臓の機能が廃絶すると、人工透析や腎臓移植が必要になります。また慢性腎臓病では腎臓が悪くなるだけでなく、心筋梗塞、脳卒中、がん、認知症、肺炎なども発症しやすくなります。

慢性腎臓病は最近特に注目されています。その理由は患者数がきわめて多くなっていることだけでなく、その**治療が可能**になってきたことにあります。続々と最新治療法が開発されており腎臓病が進行してしまっている場合でも、治療が可能となっていますので、簡単にあきらめずに専門医を受診されることをおすすめします。

しかし、もし早期にみつかることができれば治療がきわめて有効で**腎臓病の進行を抑えこむことが可能です**。このため慢性腎臓病を早期にみつかることが重要です。

慢性腎臓病の多くは自覚症状がないため、発見するには検査が必要です。その検査の代表が「尿たんぱく」と「血清クレアチニン」です。この2個の検査を合わせて行うことで慢性腎臓病を早期に発見することができます。



区民健康講座風景



この尿たんぱくと血清クレアチニンについて簡単にお話しします。

腎臓の代表的な機能は、老廃物と余分な水分を「尿」として体の外へ出すことです。全身をめぐる血液は腎臓に流れ込むと、体に必要なものと不必要なものに分けられて、不必要な老廃物と余分な水分だけ尿として出されます。「たんぱく」は体に必要なものであり、腎臓の機能が正常であれば尿中にはほとんど出ません。しかし、機能が低下すると尿たんぱくが出るようになります。一方、「クレアチニン」は体に不必要な老廃物であり、腎臓の機能が正常であれば尿中に排泄されます。しかし、腎臓の機能が低下するとうまく排泄されず、血液中のクレアチニンが増えてしまいます。このため、血清クレアチニン濃度から腎臓の働きが計算されます。これを推算糸球体濾過量（eGFR）といいます。この数値が低下するほど腎臓の機能が悪いことを意味します。つまり、尿たんぱくと血清クレアチニンの2個の検査をすることで慢性腎臓病を早期に発見しさらにその重症度を知ることができます。

学校や会社では健康診断に尿検査が含まれているため、尿たんぱくについてはそこでおおまかに知ることができます。もし尿たんぱく陽性といわれたらまずは受診することをお勧めします。一方、血清クレアチニンについては通常健康診断では行われなことがあるかもしれません。もしクレアチニンが健康診断の検査項目に入っていないときでも、人間ドッグなどを利用して年に1回程度検査することを強くお勧めします。早期に発見して進行をくいとめるために尿たんぱくと血清クレアチニンを年に1回チェックすることが極めて重要です。

## ◆タクシーコールを設置いたしました



参考写真

新渡戸記念中野総合病院では、患者さんの利便性を考え、タクシー会社（東京無線タクシー）直通電話“タクシーコール”を、正面玄関を入られて右側にございます公衆電話の隣に設置いたしました。

タクシーをご利用の際は、受話器を上げオペレータが出ましたらお話しください。ご利用料金は、無料です。どうぞ、ご利用ください。なお、従来同様に案内係職員もご対応いたしますので、お申し付けください。

## ◆区民健康講座を開催いたします

### 新渡戸記念中野総合病院

#### 第16回区民健康講座

新渡戸記念中野総合病院では、区民の皆様を対象としたわかりやすい健康講座を開催してまいりました。本年度も医師をはじめとした専門家が、様々な病気や治療について皆様のお知りになりたいこととお話しいたします。第16回目のテーマは、

「変形性膝関節症について」です。

どうぞ、奮ってご参加ください。

講師：新渡戸記念中野総合病院 整形外科部長 北濱 純

日時：9月16日（土）午後2時～3時

場所：東京都生協連会館（中野区中央5-41-18）

参加申し込み先：窓口：④総合受付

電話：地域医療連携室 TEL 3382-1231（内線211）



# 8月の小児救急体制



新渡戸記念中野総合病院では、中野区並びに中野区医師会のご協力を得て、小児の初期（1次）救急として「**準夜間小児初期救急医療**」を救急外来で実施しています。

一般診療所の診察時間が終わった後、お子さんが急病の際には、下記の**夜間受付電話**にご連絡のうえご来院ください。15歳以下のお子さんを対象に、小児科医が診療を行います。**※血液検査、点滴等の処置、入院等を必要とする場合は他病院を紹介します。**

8月1日から31日までの、準夜間小児初期救急医療体制は下記の通りです。なお、都合により医師の変更もあり得ますので、ご了承ください。ご不明な点は、下記夜間受付にお問い合わせ願います。

## 8月準夜間小児初期救急担当医

受付時間：毎日午後**6時30分**～午後**9時45分**

診療時間：毎日午後**7時**～午後**10時**

夜間受付：03-3382-9991

日	月	火	水	木	金	土
		1 齋藤 哲也	2 山田 正興	3 三輪 直子	4 清水 泰岳	5 保崎 明
6 清水 泰岳	7 小須賀基通	8 高梨 栄	9 久利 由美	10 木村 将裕	11 右田 王介	12 亀井 宏一
13 右田 王介	14 小須賀基通	15 渡辺 仁	16 宇野 真二	17 三輪 直子	18 亀井 宏一	19 右田 王介
20 清水 泰岳	21 小須賀基通	22 高田 功二	23 右近 智雄	24 木村 将裕	25 清水 泰岳	26 亀井 宏一
27 右田 王介	28 小須賀基通	29 細谷 直人	30 高木 英行	31 三輪 直子		

## 新渡戸記念中野総合病院業務概況（平成29年6月）

	延患者数		手術件数		入院主要手術
	入院	外来	入院	外来	
内科	1,847	3,566	16	14	動脈血栓内膜摘出術，血管塞栓術，内視鏡的乳頭切開術
精神神経科		822			
神経内科	1,440	1,080	1		胃瘻造設術
小児科		227			
外科	1,212	1,355	96	42	腓頭部腫瘍切除術，胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術，腹腔鏡下直腸切除・切断術
整形外科	1,409	2,883	66	48	人工関節再置換術，靱帯の関節授動術，人工関節置換術
脳神経外科	274	436		19	
皮膚科		1,046		2	
泌尿器科	82	583	1		膀胱悪性腫瘍手術
婦人科	36	457	7	1	子宮全摘術，子宮付属器癒着剥離術，子宮内容除去術（不全流産）
眼科	67	855	25	16	緑内障手術，水晶体再建術，眼瞼下垂症手術
耳鼻咽喉科	146	801	8	6	内視鏡下鼻・副鼻腔手術3型，鼻中隔矯正術，声帯ポリープ切除術
放射線科		17			
合計	6,513	14,128	220	148	

# 新渡戸記念中野総合病院

## 患者さんの権利と責務

平成28年2月29日制定

1. いかなる差別もなく、公平で良質な医療を受けることができます。
2. ひとりの人間として、その人格や価値観が尊重され、プライバシーが保護されます。
3. 分かりやすい言葉で、病状・診断・治療法・予後等について、説明を受けることができます。
4. 十分な説明と情報提供を受けたのち、セカンドオピニオンや治療法等を自らの意志で決めることができ、必要に応じて診療録の開示を求めることができます。
5. 臨床研究に参加するかどうか、自らの意志で決定することができます、いつでも参加を取り止めることができます。
6. 医療の充実と向上にむけて、医療提供者と力を合わせるとともに、医療人の育成にご協力ください。
7. ご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確に医療提供者に伝えてください。
8. すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、他の患者さんの治療や病院職員による医療提供に支障を与えないようご配慮ください。

以 上